

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	低周波音の影響に関する検討		担当部局庁	水・大気環境課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～平成26年度		担当課室	大気生活環境室		室長事務取扱 加藤 庸之		
会計区分	一般会計		施策名	3-2 大気生活環境の保全				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>風力発電施設は地球温暖化対策の重要なツールであるが、近年設置数が増加し、騒音・低周波音問題が社会的に注目されており、平成24年度より環境影響評価法の対象施設に追加されることが定められたところである。風力発電施設からの騒音・低周波音については、従来の騒音等とは同様に扱えない特性があるため、調査、予測、評価の手法についての知見の充実、及び既設の施設に対する対策の検討を行う。</p> <p>また、低周波音に係る苦情数が近年急激に増えていることから、地方公共団体のなかに低周波音問題一般を的確に扱える人材を育成する。</p>							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電施設からの騒音・低周波音に関する実態調査及び測定評価方法の検討 ・既設の風力発電施設から発生する騒音問題への対策の検討 ・低周波音の測定・評価に関する、地方公共団体職員向けの講習会の開催 ・地方自治体への委託調査による、固定発生源及び移動発生源からの低周波音の実態把握 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	19	19	17	12		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	19	19	17	12		
	執行額	18	16	14				
	執行率(%)	94.7%	84.2%	79.2%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	風力発電施設からの騒音・低周波音に関する測定・予測・評価手法の調査検討を行うものであるため、定量的な評価は困難である。定性的な目標:風車騒音・低周波音の評価をする際に参考とすべき値の提案		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	低周波音等測定評価方法講習会の参加者		活動実績(当初見込み)	人(回)	354(4)	291(3)	330(4)	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	低周波音測定評価方法講習会開催業務については、他業務と併せての発注となっており、契約金額が内数となるため、算出することはできない。風力発電施設からの騒音・低周波音に係る測定・予測・評価方法の検討については、単位当たりの事業コストを算出できるものではない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	11	10	施設を新設する場合の評価手法等の検討については、これまでの検討状況を踏まえて縮減し、平成25年度からは既存の施設に対する法制度等の検討に重点を置くこととしたため。				
	環境保全調査等地方公共団体委託費	1	1					
計	12	12						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	昨今再生可能エネルギーへの需要が高まっており、優先度は高い。また、規制等についての検討を行うため、国が実施すべき事業であると考えられる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	平成22年度より、低周波音測定評価方法講習会業務を一般競争入札とし、競争性の確保に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成23年度には、成果目標としていた暫定的なとりまとめの作成を実行した。成果物は、経産省において作成される風車の環境影響評価の主務省令の中で活用される予定である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・検討会や地方公共団体職員向けの講習会を行う際には、事前に十分な打合せを行っている。また、当該検討会及び講習会には、環境省担当官も出席し、進捗及び業務の適切な履行に関する確認を行っている。さらに、講習会終了後には受講者にアンケートを行って意見の反映に努めており、より効果の高い講習会となるよう配慮している。</p> <p>・地方公共団体への委託による実態把握調査においては、測定前後の打合せを始めとして定期的に状況の確認を行い、適切に業務が行われていることを確認している。受託者の提出する委託業務精算報告書に基づき、費目、使途の確認を適正に行っている。</p> <p>以上より、適正に予算が執行されていると承知している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	低周波音については、継続して取り組んでいくべき問題であると理解するが、事業内容を精査するなど概算要求額の縮減に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	継続事業の内、新設風力発電施設のガイドライン作成については、これまでの検討状況を踏まえて必要最小限の予算に縮減する一方、今後は既存の施設への対策も講じていく必要があることから、法制度等の検討に重点的に予算の要求を行うこととした。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	061	平成23年行政事業レビュー	048

※平成23年度実績を記入

環境省
14百万円

- ・他省庁及び関係機関との調整
- ・業務進捗状況の把握・管理
- ・外部有識者による検討会等への出席

【随意契約】

C. 芦屋市
0.9百万円

- ・業務の再委託事務
- ・関連機関との調整

【指名競争入札】

D. (株)アクト音響
振動調査事務所
0.8百万円

- ・低周波音・騒音測定調査

【総合評価方式】

A. (公社)日本騒音制御工学会
7百万円

- ・科学的知見の収集収集
- ・風力発電施設からの騒音・低周波音の測定・予測・評価方法等の検討
- ・有識者による検討会の運営

【一般競争方式】

B. (株)オリエンタルコンサルタンツ
6百万円

- ・低周波音の測定に関する講習会の準備・開催
- ・有識者による検討会の運営
- ・低周波音苦情についてのアンケートの実施
- ・地方公共団体を対象としたヒアリング

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(公社)日本騒音制御工学会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	直接人件費	2.0			
諸謝金	委員謝金、委員旅費	1.0			
印刷製本	検討会資料及び報告書印刷	0.9			
借料及び損料	消耗品	0.1			
その他	諸経費、技術料、消費税	2.9			
計		7	計		0
B.(株)オリエンタルコンサルタンツ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	直接人件費	1.6			
借料及び損料	講習会会場の借料、機材の借料	1.6			
講師謝金・旅費	講習会・検討会における講師(検討委員)への謝金及び交通費	0.8			
職員旅費	講習会会場への旅費	0.6			
印刷製本費	教材の印刷、発送	0.7			
その他	管理費	0.3			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)日本騒音制御工学会	風力発電施設の騒音・低周波音に関する検討調査業務	7	1	72.9
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	低周波音測定評価方法講習会開催業務	6	1	93.9
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	芦屋市	業務の再委託事務、関連機関との調整	0.9	随意契約	—
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アクト音響振動調査事務所	低周波音・騒音測定調査	0.8	—	—
2					
3					